

## 最高のパフォーマンス

理事 若林洋二郎

「若ちゃん、自由に書いて！」との言葉に甘えます。私こと若ちゃんの会社には不滅の笑顔を持つ鈴木君がいます。彼はその笑顔で同僚やお客様をあっという間に魅了してしまいます。先日 24 歳の彼に「いっごろ結婚したいの？」と尋ねたところ、「私は母と 2 人暮らしなので、母さえ気に入ってくればすぐにでも結婚したいです。母のハードルは低く、いつも笑顔でしっかりした子。それだけです。」といつも笑顔で答えてくれました。私は「それって難しいでしょ！いつも笑顔でしかもしっかりした子？本当にいるのかな？どうやって見つけるの？」と口にしてしまいました。最先端の人工知能を備えたロボットでも、人間の笑顔を再現しようとすれば、きっとぞっとするほど気持ち悪いものになるでしょう。

私は「笑顔は人間の最高難易度のパフォーマンスである」と思うのです。今、社内では出産ラッシュが続いており、生まれて 3 日目の赤ちゃんに出会う機会がありました。お母さんからミルクをもらった赤ちゃんは、驚くことに微笑んでいました。まさに至福の笑顔でした。昔からこの笑顔が「神様が赤ちゃんを笑わせている」と言うそうです。

昔から私は、時期折々で、何かを考える癖がありまして、今は「笑顔」がマイブームです。なぜ私がここで笑顔の話をしているのか不思議に思われるかもしれませんが、私には笑顔とバドミントンに共通点があるような気がしているのです。大人が意図的に笑顔を作ろうとすれば、知性と教養、機会や場に関わる常識が要求されます。しかし、何の知識もない無垢な赤ちゃんが最高の笑顔を披露することがあります。スポーツでも、一定のルールのもとでのパフォーマンスは、深い知識と膨大な練習時間、忍耐と努力が要求されます。一方、本能や野生が発揮されたときに最高のパフォーマンスが生まれることがあります。

人は成長するに従って、本能的から知性的へと変化していきます。同じように、バドミントンが上達するためには練習と研究が欠かせません。そして、その上達の先にあるものが、笑顔の本質と類似する無心の一本なのではないでしょうか。みなさんの最高のパフォーマンスが、最高の笑顔とともに弾ける瞬間を期待しています。

若林洋二郎 (理事)

1961年生まれ。私立西武台高校(埼玉県)、西武台千葉高校(千葉県)、岡崎学園高校(愛知県)を経て、1991年高岳塾調査員、高岳塾アメリカ校塾長、同海外教育プログラム推進委員長を歴任。

現在、元プリガム・ヤング大学名誉教授故ラッセル・ホリウチの意思を継ぎ、古きよき日本人らしさを持った日本人を育成するという、「ラッセル・ホリウチ教育プログラム」の責任者として『おこちゃん先生』という名前で世界を駆け回っている。10月第1回アルファアカデミー講師を予定している。

## Artful

池田輝 作品紹介 NO.2  
「馬上の人」  
1980年 F200 2590×1940mm



父は馬の絵を好んで描いていた。白樺湖近くの牧場に馬の写真を撮りに行くのを知り、「一緒に行く」と車に乗り込んだ。父が牧場で写真を撮ったり馬の絵をスケッチしている間ただブラブラと歩いて時間を過ごした。父は休みの日は絵を描くばかりで、家族で出かける機会はほとんどなかったから、スケッチのお供でもこうしてドライブできるのが楽しかった。ある日、その日も白樺湖を目指していた。しかしどこでどう道を間違えたのか、白樺湖にたどり着くことはできず、途中名もない牧場に立ち寄り絞りをたての牛乳を飲んだ。ビールジョッキに一杯。その牛

乳のおいしかったこと。2 杯目いこうかどうか迷った挙げ句、「腹をこわすからやめよう」と飲まなかったような、飲んだような。記憶は曖昧である。その後その牧場を探すが、見つけ出すことができないままである。父と一緒に牛乳を飲んだことは夢の中の出来事のような錯覚にも陥るが、しかし写真を撮った事実は今こうして絵となって残っている。

池田輝：洋画家 農芸作家初代中村実の三男として長野県小県郡神川村(現上田市黒坪)に生まれる。叔父に中村直人をもち、岡鹿之助洋画研究会で学ぶ。信州大学教育学部美術科卒。小学校教員、中学校教員を経て上田女子短期大学講師を勤める。春陽会会員。同会60周年記念展賞受賞。西武台信州合宿を第1回より全面的に支援し続けた。2005年永眠。ドキュメンタリー「色の詩人」(youtubeで視聴可能) 高瀬常務理事実父

## Schedule

### 大会のご案内

5/31-6/2	高校関東大会 ◆西武台男子(24年連続)女子(22年連続) 茨城県ひたちなか市
6/14-18	インターハイ千葉県予選会 [高校] (県総合SCほか) ◆西武台男子・女子チーム・個人出場
7 下旬	県中学校総体 [中学] ◆西武台男子・女子チーム・個人出場
8/7-11	インターハイ (福岡県北九州市)
8 中旬	関東中学校大会 (千葉県)
8 下旬	全国中学校大会 (静岡県)

## Information



### 事務局より

ゴールデンウィークは書類作成に追われました。助成申請や総会資料作りです。今後書類が増えますから、クラブハウスパネの一角にNPO用の棚を設けました。事業規模が小さい今のうちに丁寧にファイリングして機能的に事を運ぼうと思うのですが・・・先日初の事業報告と定時総会を終了し、役員重任、代表理事選任し、登記準備を終えほっと一息です。初年度しっかりやっておけば次年度は楽になる、最初が肝心なのです。

会員数は少しずつ増えております。多くの方が振込ではなく直接申し込みたいと言われ、事務局を訪ねてくれます。いつも私たちの活動を気にかけていただいております。会員申し込みされた方には「アルファの窓」やイベント情報等を随時メールでお知らせしております。こちらからの連絡だけでなく、会員間で共有したい情報がありましたら事務局までお知らせ下さい。「アルファの窓」掲載やメール等で会員の輪を深めていきたいと思います。

### 国際交流事業

8月にカナダ交流が実施されます。オンタリオ州トロントジュニアチーム「THE RIDGES」とケベック州ジュニアチーム、千葉大学バドミントン部、アルファクラブによる合同トレーニングキャンプに参加します。アルファクラブの参加学生は4月から勉強会を開催し、交流のモチベーションを高めています。カナダ滞在中はトロントチーム指導者の青木さん宅にホームステイさせていただきます。キャンプ報告は次号ABNにて。  
※本交流は「知的交流会議助成プログラム-地域リーダー・若者交流助成」(国際交流基金)を申請中です。

- キャンプ地：カナダオンタリオ州トロント市
- 期間：8/2～8/12
- 参加者：野口祐輔(獨協大学法学部3年)  
片倉里沙(文教大学文学部2年)
- 引率：常務理事 高瀬麻美

# Alpha Badminton Network News

# ABN News

## ABNニューズレター第2号(2013年5月)

2013 NO. 002  
アルファバドミントンネットワーク

特定非営利活動法人  
NPO Alpha Badminton Network  
アルファバドミントンネットワーク  
〒270-0237  
千葉県野田市中里 773-13  
TEL/FAX04(7129)0678  
URL:http://www.alphanet.com



## 次世代の選手を育み、人と人をつなぐ

NPOアルファバドミントンネットワーク

選手の育成を通じてよりよい「学びの場」と人々の「つながり」を深めたいと願っております。選手たちの成長や活動の様子を大会結果などと共に皆様にお届けします。

### Topic

平成25年度  
関東高等学校バドミントン大会

### Information

事務局より 平成25年度総会ほか  
入会のご案内

### Voice

田邊あゆみ選手(高校3年生)

### Artful

池田輝作品集NO.1

### Schedule

平成24年度・25年度の予定  
大会のご案内





### 平成24年度事業報告、平成25年定時総会報告

平成25年1月7日にスタートし、同年3月31日に初年度を終了しました。

平成25年5月19日に定時総会を開催し、前年度事業報告および今年度活動計画、予算について承認を得た後、役員任期切れに伴う新役員選任及び代表理事の選出を行いました。役員、代表理事共に全員重任で満場一致で可決しましたことをご報告いたします。



### 第1回アルファカップ報告

選手90名、関係者30名で平成25年3月9日(日)に賑やかに開催されました。会場は西武台千葉高校第1体育館、第2体育館の14面展開で、ダブルスゲームが行われました。

対戦相手や時にはパートナー探しまでも積極的に交渉したうえでゲームの機会を得るといふ、中学生、高校生にとっては新しいチャレンジが含まれる1日となりました。青少年に胸を貸していただき、温かいアドバイスやご指導を下された皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。

またNPO設立のお祝いに駆けつけて下さり、多くの皆様よりお祝いの品や激励のお言葉を頂きました。ありがとうございました。

### [参加者]

県立宇都宮柏楊高校・県立土浦第三高校・県立川口高校  
藤沢市立藤が丘中学校・足立区役所  
西武台千葉高校・西武台千葉中学校・西武台千葉高校OB,OG他

終了後関係者により開かれました懇親会も大いに盛り上がりました。



アドバイス 及川さん



男子(OB)野口・古橋ペア



閉会式にて 田村理事



男子(OB)竹塚・島田ペア



大和田・荒木ペア



懇親会 南流山にて

### ABNニューズについて

アルファバドミントンネットワークでは、活動報告誌「ABNニューズ」を年3回(5月、9月、2月)に発行し、会員間相互の情報共有を図ってまいります。また、これらの活動を含みますホットな話題につきましては、webサイトをご利用ください。http://www.alphabanet.com



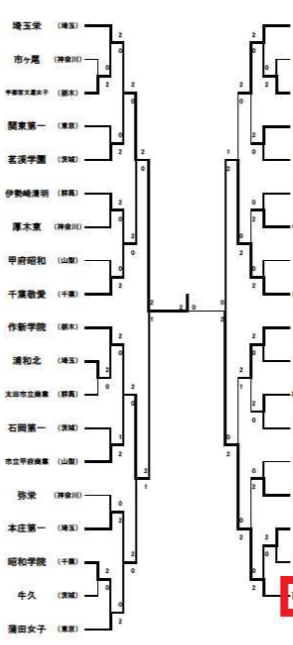
### 高校関東大会

平成25年度関東高等学校バドミントン大会

男子 5月24日開催 茨城県ひたちなか市総合運動公園体育館



女子 5月25日開催 茨城県ひたちなか市総合運動公園体育館



2013/5/31-6-2  
茨城県ひたちなか市総合運動公園体育館

男子 24年連続 24 回目出場  
女子 22年連続 22 回目出場

- 【男子】  
監督 稲田聡  
主将 國藤幹生③  
上村聡③  
早川航平③  
野口幸宏③  
森川②  
森公平②  
山崎慎也②  
上村賢②

- 【女子】  
監督 高瀬秀雄  
主将 塩澤優生③  
中平瑞希③  
田辺あゆみ③  
桶田綾乃②  
片桐悠夏②  
荒木萌恵①  
坂井朱里①  
遠藤朋佳①

女子は第2シードからの出発に対して、昨年度初戦敗退の男子はノーシードからの挑戦となった今年の関東高校選手権大会は両チームとも好調に初戦を突破し、初日ベスト8に進み、2日目にそろって挑んだ。

どちらかというとき堅さが心配された男子チームは3年生の野口選手が「全身カラーリング」という異色な応援長をつとめチームの雰囲気をおとという間に最高潮に上げていた。女子はスーパーキー荒木選手が相手チームのエースを次々に切り倒し、決勝では2年生では全国トップクラスの選手と互角に渡り合っていた。

結果は男子が第3位(過去4回目)、女子は5年連続決勝進出、準優勝(2年連続4回目)であった。20年以上続いている西武台バドミントンの歩みにまた大きな一歩を加えた。

この勢いを全国高校総体(インターハイ)に向けてさらに加速させたい。(インターハイ県予選 6/14・15・19 詳細は千葉県高校体育連盟バドミントン部サイトで確認願います。)

### Player

#### 田邊あゆみ選手(高校3年生)

■5月24日は重要な日だった。数日前に発表された組み合わせから、田邊選手が県大会に出場できず高校時代の現役生活にピリオドを打たなければならない可能性が出てきた。そうするとこの日が彼女にとってこの学校で練習する最後の日になる。だからカレンダーに『25日試合の選手のみ』と書き込んでコートに余裕を作った。日頃は減多に使わない「エースコート」にずっと入れて、私はバカみたいに大声でアドバイスを言い続けようと思った。

■田邊選手は小学生の頃、市の『サタデークラブ』でバドミントンと出会った。そのときのコーチ小林さん(4期生、元野田ジュニア監督)に見てもらい、「いつか本気でバドミントンやった方がいいよ。」と言われ、遅まきながら岩名ジュニアに入り細々とバドミントンを続けた。子供心に中学校で西武台に入りたいと願っていたが四姉妹の長女であり、そうわがママが言える状況ではなく、地元の中学の陸上部で長距離に専念した。中学3年生で「満を持して」西武台を受験、見事トップ合格。晴れて西武台千葉高校バドミントン部の選手となった。大家族だけにその期待もプレッシャーも大きかったと思うがそれ以上に彼女の『希望』が大きく勝り、子どもが大切な『贈り物』を頂いたように目を輝かせていた。

■田邊選手はまじめである。そして何より決して出しゃばらない。常に控えて思慮深い。だから「私だけ特別に教えてください」などとは言えるはずもなく表情にも表さない。我々から見ればそれが切なくやるせなかった。それでも自身が最高学年になる頃、待ってばかりいられず声をかけた。「朝練やる？」大きくうなずいて喜んでいった。しかし、それもつかの間。2年生の秋から冬にかけて『コンパートメント症候群』になり、足を床につくことさえままならなくなった。練習から遠ざかる彼女は、岸壁で船を見送るがごとく小さくなっていく。

■最後は何としても個人戦で県大会に出場したいという想いが通じた今年の春、みるみる足の痛みが消えていく。また少しずつ朝の練習にも参加して私の「激励のない叱咤、叱咤の連続」に耐えることとなった。強豪新入部員が入り、団体のメンバーからは外れる。しかし、ベンチに入るの誰が見ても当たり前、そのくらいチームメイトからは全幅の信頼を得ている。そして最後の大会の日が来た。

■地区大会ベスト8に入り、本来ならば県大会の切符を手にするところだが、『同校4枠ルール』が前に立ちはだかり自らベスト4に入らなければ県大会出場は叶わない。相手は同校の後輩遠藤選手。遠藤選手が勝つとその時点で田邊選手の現役が終わる。それを知っている遠藤選手もさぞ苦しかっただろう。全く相手にならずに田邊選手が負けた。しかしそこから順位決定戦を2回やることとなっている。最後の試合は「地区7位決定戦」。普通ならばそう関心も持たれない試合だが、その日はこの試合が最後の試合となり、体育館中の視線を集めた。コートサイドでは彼女を応援する同じ26期の男女全員が大声でサポートしている。「勝つと負ける」のシーソーゲームを彼女は気力で食い下がる。同級生が励ます。女子は後輩も含めて全員でコーラス応援をしている。男子はさすがに照れながらそれでも心から応援している様子がわかる。心は伝わるものだ。20-20「あれあれっ・・・？」と不安に襲われる。しかし冷静な配球でシャトルを相手コートに沈めゲームを勝ち取った。彼女にとってこれほど緊張する、しかも注目度の大きい試合は初めてだろう。しかもそれを「勝利」で終わらせることができた田邊選手にとって「生涯忘れられぬバドミントン」になったことだろう。

■加えて、日本一や世界一を目指す選手から、地区大会でこんなドラマを演じる選手まで同じチームで『共生』できる西武台千葉バドミントンチームの『環境』の良さに改めて深く感動した。



田邊あゆみ選手 5/26 試合後野田市運動公園にて

■「弁護士になりたいです。」彼女は次の山をすでに目指している。「弱い人を助けたい、誰かの力になりたい。」これが彼女の願いである。この文脈からは「私は弱い」という意味が読み取れる。しかし深く読み取れば『私は本当は弱いのです』という開かれた心の裏(ひだ)も見え隠れする。控えてであるが凛とした頼もしい若人ではないか。時間がかかるが望みは叶うだろう。大家族が支え育む強い子供の成長を学ばせていただいた。(文責 高瀬 秀雄)

このコーナーではネットワーク内の注目選手を毎回紹介いたします。ご期待ください。そして是非コートサイドで選手に直接声をかけてください。

### Information

#### 会員募集

一緒に楽しもう、つながりに参加したいという方ならいつでもどなたでも会員になれます。入会を希望される方は下記事項をご記入の上メール等にてご連絡下さい。折り返し事務局より入会のご案内をいたします。会員の皆様には「ニューズレター(年3回発行予定)」を郵送するとともに『アルファの窓』をはじめとするホットニュースを随時メール配信いたします。

#### 【入会申込書記入内容】

- ご住所
- お名前(OB,OGの方は卒業年及び旧姓)
- 連絡先(電話番号及びメールアドレス)
- ご希望の会員種別(下記参照)を明記の上事務局までご連絡下さい。

#### 【会員種別】

- 一般協力会員  
活動内容に賛同し、積極的に活動に参加希望される個人
- OB&OG協力会員  
西武台千葉高校バドミントン部出身者
- 賛助会員  
活動内容に賛同し、支援を希望される個人及び団体

#### 【入会申込書送付先】

E-mail: npobanet@jcom.home.ne.jp  
FAX: 04-7129-0678  
郵送: 千葉県野田市中里773-13

#### 【年会費(入会金はありません)】

◇一般協力会員・OB&OG協力会員	3,000円
◇賛助会員 個人	一口3,000円(一口以上)
団体	10,000円(一口以上)

#### 【会費納入方法】

下記口座に振り込みお願いします。振込料はご負担下さい。

- ◆ゆうちょ銀行  
記号10580 口座番号34219951  
口座名義: 特定非営利活動法人アルファバドミントンネットワーク
- ◆ちばぎん 川間支店  
口座番号 3513619  
口座名義 特定非営利活動法人  
アルファバドミントンネットワーク 理事 樋上照直
- ◆事務局手渡し  
事務局までご連絡下さい。

#### 寄付のお願い

私たちの活動は皆様のご寄付で支えられます。皆様からの寄付を随時受け付けております。寄付送金先は上記会費振込口座と同じです。ご寄付(送金)いただきましたら、その旨メール等にてご連絡いただければ幸いです。

E-mail: npobanet@jcom.home.ne.jp

なおご寄付いただきましたら、お名前をニューズレター等に掲載させていただきます。匿名を希望される場合はその旨ご連絡下さい。

問い合わせ・連絡先  
事務局: 〒270-0237千葉県野田市中里773-13 Tel04-7129-0678  
npobanet@jcom.home.ne.jp

ご寄付を戴いた方(H25/1~5)  
若林洋二郎様・蒔田洋子様・竹塚賢様  
清水義哲様・小林勝行様